

2008年4月11日

各 位

会 社 名 株式会社みずほフィナンシャルグループ
代 表 者 名 取締役社長 前田 晃伸
本 店 所 在 地 東京都千代田区大手町一丁目5番5号
コ ー ド 番 号 8411 (東証第一部、大証第一部)

子会社のトレーディング損失に関するお知らせ

当社の連結子会社であるみずほ証券株式会社（東京都千代田区、取締役社長 横尾敬介）は平成20年3月期決算において、サブプライムローン問題に端を発したクレジット市場の混乱の中で、証券化商品に係る評価損を計上したことを主因として、下記のとおりトレーディング損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. みずほ証券におけるトレーディング損失見込額等

(A) みずほ証券における 平成20年3月期のトレーディング損失見込額 〔平成20年3月期第3四半期のトレーディング損失額〕	400,000 百万円 〔190,985 百万円〕
(B) 平成19年3月期の純資産の額 (A/B×100)	6,724,408 百万円 (5.95%)
(C) 平成19年3月期の経常利益額 (A/C×100)	748,170 百万円 (53.46%)
(D) 平成19年3月期の当期純利益額 (A/D×100)	620,965 百万円 (64.42%)

(ご参考) 当社の決算期末は、3月31日であります。

2. 業績の見直し

平成20年3月期の業績見直しにつきましては、本日発表の「平成20年3月期連結業績予想の修正について」をご参照ください。

以 上

本資料には、業績の予想等に関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、かかる記述は、実際の結果と異なる可能性があります。当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書、ディスクロージャー誌等の本邦開示書類や当社が米国証券取引委員会に提出した Form20-F 年次報告書等の米国開示書類など、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものを参照ください。当社は、業績予想の修正等将来の見直しの変更に関する公表については、東京証券取引所の定める適時開示規則等に基づいて実施いたします。従って、最新の予想や将来の見直しを常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。